

## 介護職員初任者研修カリキュラム(通信課程用)

1 職務の理解（6時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
1) 多様なサービスと理解	3時間	【講義内容】 介護保険サービス（居宅、施設）及び介護保険外サービスの理解
2) 介護職員の仕事内容や働く現場の理解	3時間	【講義内容】 居宅、施設の多様な働く現場におけるそれぞれの仕事内容。居宅、施設の実際のサービス提供現場の具体的なイメージ。ケアプランの位置づけに始まるサービスの提供に至るまでの一連の業務の流れとチームアプローチ・他職種、介護保険外サービスを含めた地域の社会資源との連携。
合計	6時間	

2 介護における尊厳の保持・自立支援（9時間）					
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	添削 課題 番号	講義内容及び演習の実施方法  通信課題の概要
1) 人権と尊厳を支える介護	5.0時間	1.0時間	4.0時間	2-1-1 ～ 2-1-6	【講義内容】 人権と尊厳の保持、介護分野におけるICF、QOL、 ノーマライゼーション、虐待防止・拘束禁止、個人の権利を守る制 度の概要 【通信課題】 人権と尊厳の保持、重要性を理解する。 ノーマライゼーション実現に向けての考え方。
2) 自立に向けた介護	4.0時間	0.5時間	3.5時間	2-2-1 ～ 2-2-3	【講義内容】 自立支援、介護予防の視点での介護について 【通信課題】 尊厳を守り、自立支援を行う事の理解と考え方。
合計	9.0時間	1.5時間	7.5時間		

3 介護の基本（6時間）					
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	添削 課題 番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
1) 介護職の役割、専門性と 多職種との連携	1.5時間	1.0時間	0.5時間	3-1-1 ～ 3-1-4	【講義内容】 介護環境の特徴理解、介護の専門性、介護に関する職種 【通信課題】 多職種連携における役割及び地域包括ケアシステムの理解
2) 介護職の職業倫理	1.5時間	0.5時間	1.0時間	3-2-1 ～ 3-2-4	【講義内容】 専門職の倫理の意義、介護の倫理、介護職の社会的責任、プライバシーの保護・尊重 【通信課題】 高齢者虐待の理解、介護職の倫理観について
3) 介護における安全の確保 とリスクマネジメント	1.5時間	1.0時間	0.5時間	3-3-1 ～ 3-3-4	【講義内容】 介護における安全の確保、事故予防、安全対策、感染対策 グループによるケース・スタディ 【通信課題】 リスクマネジメント、事故防止・安全対策の理解
4) 介護職の安全	1.5時間	0.5時間	1.0時間	3-4-1 ～ 3-4-3	【講義内容】 介護職の心身の健康管理 【通信課題】 介護職の健康管理、ストレスマネジメントの留意点理解
合計	6.0時間	3.0時間	3.0時間		

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携（9時間）					
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	添削 課題 番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
1) 介護保険制度	3.0時間	1.0時間	2.0時間	4-1-1 ～ 4-1-10	【講義内容】 介護保険制度創設背景・目的・動向・仕組みの基礎的理解、制度を支える財源、組織、機能と役割 【通信課題】 介護保険制度理解、
2) 医療との連携と リハビリテーション	3.0時間	1.0時間	2.0時間	4-2-1 ～ 4-2-3	【講義内容】 施設における看護と介護の役割・連携、リハビリテーションの理念 【通信課題】 医行為の理解、医療職との連携について
3) 障がい者総合支援制度 及びその他制度	3.0時間	1.0時間	2.0時間	4-3-1 ～ 4-3-2	【講義内容】 障がい者福祉制度の理念、障がい者総合支援制度の仕組み基礎的理解、個人の権利を守る制度の概要 【通信課題】 障害者を取り巻く法制度の変革の理解
合計	9.0時間	3.0時間	6.0時間		

5 介護におけるコミュニケーション技術（6時間）					
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	添削 課題 番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
1) 介護における コミュニケーション	3.0時間	1.5時間	1.5時間	5-1-1 ～ 5-1-9	<b>【講義内容】</b> 介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割、技法 利用者・家族とのコミュニケーションの実際状況に応じたコミュニケーショ グループによるロールプレイング <b>【通信課題】</b> バイステイクの7原則に基づく、傾聴、共感的態度等の理解及 びコミュニケーション留意事項
2) 介護における チームのコミュニケーション	3.0時間	1.5時間	1.5時間	5-2-1 ～ 5-2-4	<b>【講義内容】</b> 記録における情報の共有化、報告、コミュニケーションを促す環境 グループによるロールプレイング <b>【通信課題】</b> 介護記録での情報共有理解、カンファレンス進行の留意事項
合計	6.0時間	3.0時間	3.0時間		

6 老化の理解（6時間）					
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	添削 課題 番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
1) 老化に伴うこと からだの変化と日常	3.0時間	1.5時間	1.5時間	6-1-1 ～ 6-1-6	<b>【講義内容】</b> 老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴 日常の影響 グループによるスタディ <b>【通信課題】</b> 加齢に伴う、心身・社会・知的面の変化の理解
2) 高齢者と健康	3.0時間	1.5時間	1.5時間	6-2-1 ～ 6-2-11	<b>【講義内容】</b> 高齢者の疾病と生活上の留意点 高齢者特有の病気と日常生活上の留意点 グループによるケーススタディ <b>【通信課題】</b> 高齢者特有の疾病理解と介護職の観察ポイント
合計	6.0時間	3.0時間	3.0時間		

7 認知症の理解(6時間)					
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	添削 課題 番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
1) 認知症を取り巻く状況	1.0時間	0.5時間	0.5時間	7-1-1 ～ 7-1-3	【講義内容】 認知症ケアの理念 【通信課題】 認知症対応及び症状の理解 パーソン・センタード・ケアの考え方
2) 医学的側面から見た 認知症の基礎と健康管理	1.0時間	0.5時間	1.0時間	7-2-1 ～ 7-2-5	【講義内容】 認知症の概念、認知症の原因疾患と病態、健康管理 グループによるケース・スタディ 【通信課題】 認知症の原因疾患、特徴の理解
3) 認知症に伴うことと からだの変化と日常生活	2.0時間	1.0時間	0.5時間	7-3-1 ～ 7-3-3	【講義内容】 認知症の人の生活障害、心理・行動の特徴 認知症の利用者への対応 グループによるケース・スタディ 【通信課題】 認知症対応のBPSDの心理症状理解
4) 家族への支援	2.0時間	1.0時間	0.5時間	7-4-1 ～ 7-4-3	【講義内容】 認知症の受容過程での援助、介護負担の軽減 【通信課題】 家族介護における心理と支援、受容過程の変化
合計	6.0時間	3.0時間	2.5時間		

8 障害の理解(3時間)					
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	添削 課題 番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
1) 障がいの基礎的解	1.0時間	0.5時間	0.5時間	8-1-1 ～ 8-1-3	【講義内容】 障害の概念とICF、障害者福祉の基本理念 【通信課題】 ICF/ICIDHの概念の比較と理解
2) 障がいの医学的側面、生 活障害、心理・行動の特 徴、かかわり支援等の基礎 的知識	1.0時間	0.5時間	0.5時間	8-2-1 ～ 8-2-9	【講義内容】 身体障害、知的障害、精神障害、心理機能障害理解 【通信課題】 障害の医学的理解と症状における介護の留意点
3) 家族の心理、かかわり支援 の理解	1.0時間	1.0時間	0.0時間	-	【講義内容】 家族に対する障害の理解・障害の受容支援 介護負担の軽減
合計	3.0時間	1.5時間	1.5時間		

9 こころとからだのしくみと生活支援技術（75時間）						
基本知識の学習	項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	添削 課題 番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
	1) 介護の基本的な考え方	3.0時間	3.0時間	0時間	-	【講義内容】 倫理に基づく介護、法的根拠に基づく介護、ICF に基づく生活支援
	2) 介護に関するこころの 仕組みの基礎的理解	3.0時間	3.0時間	0時間	-	【講義内容】 学習と記憶の基礎知識、感情と意欲の基礎知識、自己 概念と生きがい、老化や障害を受け入れる適応行動と その阻害要因、心の持ち方が行動に与える影響、体の 状態が心に与える影響
	3) 介護に関するからだの 仕組みの基礎的理解	3.0時間	3.0時間	0時間	-	【講義内容】 人体各部の名称と動き、骨・関節・筋の基礎知識、 ボディメカニクスの活用、中枢神経系と体性神経、自 律神経と内部器官に関する基礎知識、利用者の様子に 気づく視点
生活支援技術の講義・演習	4) 生活と家事	6.0時間	6.0時間	0時間	-	【講義内容】 家事と生活の理解、家事援助に関する基礎知識と生 活支援
	5) 快適な居住環境整備と 介護	6.0時間	6.0時間	0時間	-	【講義内容】 快適な居住環境に関する基礎知識、高齢者・障害者特有 の居住環境整備と福祉用具に関する留意点と支援方法
	6) 整容に関連したここと ろからだのしくみと自立 に向けた介護	3.0時間	3.0時間	0時間	-	【講義内容】 前開き・かぶりシャツ等使用した、整容に関する基礎 知識及び支援技術 グループによるロールレイング
	7) 移動・移乗に関連した こころとからだのしくみ と自立に向けた介護	5.0時間	6.0時間	0時間	-	【講義内容】 移動・移乗に関する基礎知識、さまざまな移動・移乗 に関する用具とその活用方法、利用者、介助者にとっ て負担の少ない移動・移乗を阻害する心と体の要因の 理解と支援方法、移動と社会参加の留意点と支援 グループによるロールレイング
	8) 食事に関連したここと ろからだのしくみと自立 に向けた介護	6.0時間	6.0時間	0時間	-	【講義内容】 食事に関する基礎知識、食事環境の整備・食事に関連 した用具・食器の活用方法と食事形態とからだのしく み、楽しい食事を阻害するこころとからだの要因の理 解と支援方法 グループによるロールレイング

	9) 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	5.0時間	6.0時間	0時間	-	【講義内容】 入浴、清潔保持に関連した基礎知識、さまざまな入浴用具と整容用具の活用方法、楽しい入浴を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法 グループによるロールレイング
	10) 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	5.0時間	6.0時間	0時間	-	【講義内容】 排泄に関する基礎知識、さまざまな排泄環境整備と排泄用具の活用方法、爽快な排泄を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法 グループによるロールレイング
	11) 睡眠に関連したところとからだの仕組みと自立に向けた介護	3.0時間	3.0時間	0時間	-	【講義内容】 睡眠に関する基礎知識、睡眠環境整備と用具の活用方法、快い睡眠を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法、シーツ交換演習 グループによるロールレイング
	12) 死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	6.0時間	4.0時間	0時間	-	【講義内容】 終末期に関する基礎知識とところとからだのしくみ、生から死への過程、「死」に向き合うところの理解、苦痛の少ない死への支援
生活支援技術演習	13) 介護過程の基礎的理解	6.0時間	【講義内容】 介護過程の目的・意義・展開 介護過程とチームアプローチ グループディスカッションを行う。			
	14) 総合生活支援技術講	3.0時間	【講義内容】 事例による展開として、一連の生活支援を提供する流れの理解と技術の習得、利用者の心身の状況にあわせた介護を提供する視点の習得を目指す。 グループによるロールレイング			
実習		12.0時間				
合計		76.0時間				

10 振り返り ( 4時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
1) 振り返り	3.0時間	【講義内容】 研修を通して学んだこと、今後継続して学ぶべきこと 根拠に基づく介護についての要点。グループディスカッションを行う。
2) 就業への備えと 研修終了後における実例	1.0時間	【講義内容】 継続的に学ぶべきこと 研修終了後における継続的な研修について、具体的にイメージ出来るような事業所等における実例の紹介
合計	4.0時間	
全カリキュラム合計時間	131時間	